

… テトラバランス …

最終案

平成エコ系自転車ブームの追い風は、間違いなく吹いている。

しかし、エコや観光や都市交通再生では、自転車の驚き(楽しさや可能性)を十分に表現できない。

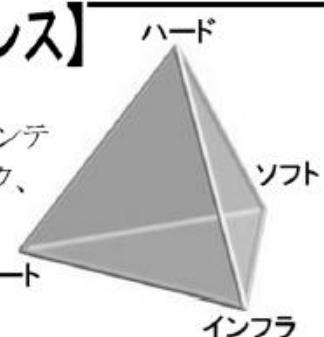
「自転車の驚きは普遍」と言う意味を込めた「Bike is Good!」。

それをキャッチフレーズに日本の風土(※注)に合った自転車遊びを探る実証実験を行ってきた。

そして「THT26」に辿りつき、さらに副産物として見つけたのが「テトラバランス」。

自転車環境正四面体 【テトラバランス】

自転車多様性を、**ハード:自転車**(作る、売る、使う、メンテナンス)、**ソフト:使い方**(楽しむ、仕掛ける、ネットワーク、日常利用と余暇活動)、**ハート:人**(ルール、マナー、テクニック)、**インフラ:環境**(道路、セキュリティ、保険、サイクリングクラブ)の4つに凝縮。



未だ、ハードやソフトに車種や楽しみ方の異なる組み合わせを入れ、インフラやハートの変化を確かめている段階。

しかし、その途中段階でも、多くの自転車関連企画の不連続性にも行き当たっている。

活動指針2013～2015では、下記のキーワードを基に、サイクリングネットワーク再構築への課題を探りたい。

- ハード／供給体制の棲み分け…………小売店、量販店、通信販売、そしてスーパー・プロショップの共存は可能か？
- ソフト／使い方、楽しみ方の標準化…………“サイクリング大会”は、特例処置。“Cycling”的標準化が未成立のため！？
- ハート／自転車遊びのライセンス…………年齢性別車種不問で楽しめる自転車。使う人のハートと力量が問われている！
- インフラ／旅人目線の交通基本法…………自転車にとって不連続な道を旅人目線で見つけ“移動の自由”を勝ち取ろう！！

★サイクリングネットワーク再構築のテトラバランス的最終目標は、地域貢献を視野に入れた「サイクリングクラブ」の充実です。

★サイクリングネットワーク再構築の課題は、自転車旅の商品化に隠されたセキュリティの不備に正面から向き合うことです。

※注：環太平洋造山帯にある温帯モンスーン気候の日本列島に育まれた自然や歴史や風俗、そして制度やインフラ…

